



平成23年7月13日

各 位

上場会社名 株式会社 ペッパーフードサービス
 代表者 代表取締役社長 一瀬邦夫
 (コード番号 3053)
 問合せ先責任者 管理本部 総務部長 猿山博人
 (TEL 03-3829-3210)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年2月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,581	42	38	2	82.09
今回修正予想(B)	2,483	43	45	△16	△656.71
増減額(B-A)	△98	1	7	△18	
増減率(%)	△3.8	2.4	18.4	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年12月期第2四半期)	2,742	△5	△51	△114	△4,790.96

修正の理由

平成23年12月期第2四半期累計期間につきましては、売上高の増大のために顧客サービスの充実、新商品の開発・販売促進活動などのマーケティング力の強化を図るとともに、安心・安全な商品を提供できる体制を強化し、品質管理を徹底してまいりました。

ペッパーランチ部門では、お客様の満足度を高めることを基本戦略として、本来のペッパーランチの強みであるおいしくて、高品質な商品を、スピーディーにお客様にご提供するという原点を追求し、好評である「ワイルドジュシーカットステーキ」及び「サービスステーキ」の販売をさらに強化してまいりました。

レストラン事業につきましては、業態や立地条件ごとのメニュー政策の見直しによる顧客満足度の向上に取り組むことにより、売上高の拡大に努めてまいりました。6月からは、ファミリーを対象とした低価格のサラダバー付きステーキレストラン「太陽の家族く」を新業態として立ち上げております。

これらの結果、売上高は3月に発生した東日本大震災の影響などから当初の予想より98百万円減少しておりますが、海外事業が好調であることと営業経費の削減などから営業利益及び経常利益は予想を若干上回る数値を確保することができました。四半期純利益につきましては、減損損失を10百万円計上したこと、東日本大震災の影響に伴う特別損失を8百万円計上したこと、及び資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額の計上に伴い付随して発生した法人税等調整額を6百万円計上したことにより当初予想の四半期純利益2百万円に対し四半期純損失16百万円を計上しております。

以上から当第2四半期累計期間の業績予想を修正いたします。なお、通期の業績予想につきましては、下半期の業績が順調に推移することによって年間の予想数値を達成できるとの見込みから修正いたしません。

(注)上記に記載しております業績予想に関しましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社にて判断したものであり、リスクや不確実要素が含まれており、実際の成果や業績等は記載の予測と異なる可能性があります。

以 上